

# 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」と当社方針との対応関係

金融庁 「顧客本位の業務運営に 関する原則」	ニッセイアセット「お客様本位の業務運営に係る方針」		
	方針	説明	2024年度具体的取り組み
【原則 2】 【顧客の最善の利益の 追求】	【方針 6】 人材育成・企業文化醸成	【方針 6】で企業文化醸成の取り組み実施し、お客様本位の業務運営に係る取り組みを従業員に浸透させております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「経営理念」や拠り所となる「パーパス」、サステナビリティ経営スローガンである「A Good Investment for the Future」に関連して、お客様の長期にわたる資産形成への貢献について社長が役職員に語りかけを実施</li> </ul>
	【方針 3】 運用	【方針 3】で継続的な運用力強化への取り組みとリスク管理の徹底を通じて、最良のパフォーマンス提供に努め、お客様の長期的な資産形成に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クレジットや元本確保型商品等、日本生命グループの運用ノウハウを生かした運用商品やソリューションの提供を実施したほか、生成AIを市場情報の収集等に活用</li> <li>■ リスク管理統括部において、Aladdin Risk等を活用し、ストレス分析を定期的実施するとともに、市場テーマに応じたシナリオ分析等をタイムリーに運用本部へ発信</li> </ul>
	【方針 1】 商品	【方針 1】で適切なプロダクトガバナンスを通じて、お客様の「長期的」「安定的」な資産形成に貢献する商品を提供します。また、お客様のニーズを的確に把握・予測し、お客様にご満足いただける当社ならではの商品開発を実践します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ニッセイS&amp;P500リカバリー戦略株式ファンド、ニッセイ・インド中小型株式ファンド、ニッセイ・パワーテクノロジー株式ファンドなど、NISA成長投資枠対象ファンドを新たに9本設定（2024年度末でNISA対象ファンドは97本）</li> </ul>
【原則 3】 【利益相反の適切な管理】	【方針 5】 利益相反の適切な管理	【方針 5】で 業務執行部門から独立した利益相反管理統括部署および利益相反管理統括責任者を設置し、利益相反の懸念のある取引の類型を定め、適切な管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 議決権行使における利益相反を適切に管理するため、判断基準を具体的に定めて当社HPで開示</li> <li>■ 「責任投資監督委員会」を設置し、議決権行使に係る規程・基準の制定・改廃や、利益相反が生じる可能性が高い企業に対する個別議案判断等を事前に協議</li> </ul>
【原則 4】 【手数料等の明確化】	【方針 1】 商品	【方針 1】で お客様にご提供する運用商品、お客様サービスに応じた手数料水準を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ インドの税制優遇制度を取り入れ、運用コストの更なる削減を実現したニッセイ・インド株式ファンド等、＜購入・換金手数料なし＞ シリーズを拡充</li> </ul>
	【方針 2】 お客様サービス	【方針 2】で お客様に最良の選択をして頂けるよう、お客様に合った適時適切な情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 目論見書に「総経費率」の記載を追加</li> </ul>
【原則 5】 【重要な情報の分かりやすい 提供】	【方針 2】 お客様サービス	【方針 2】で全役職員がお客様の利益を第一に考えたサービスを提供するとともに、お客様サービスの向上に継続的に取り組みます。また、お客様に最良の選択をして頂けるよう、お客様に合った適時適切な情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お客様へのわかり易い情報提供の強化に努め、当社HPの各ファンドのページに、ファンドの運用責任者氏名や担当部署を掲載</li> <li>■ オフィシャルHP以外にもX、LinkedIn、note、YouTube等様々なメディアを通じて情報発信を実施</li> </ul>

# 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」と当社方針との対応関係

金融庁 「顧客本位の業務運営に 関する原則」	ニッセイアセット「お客様本位の業務運営に係る方針」		
	方針	説明	2024年度具体的取組み
【原則 6】 【顧客にふさわしいサービスの提供】	【方針 3】 運用	【方針3】で継続的な運用力強化への取り組みとリスク管理の徹底を通じて、最良のパフォーマンス提供に努め、お客様の長期的な資産形成に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「対話専任チーム」の設立や、「ESGファンド」の運用とモニタリングに関する体制構築を行う等、サステナブル運用推進のための組織体制を構築</li> </ul>
	【方針 1】 商品	【方針 1】で適切なプロダクトガバナンスを通じて、お客様の「長期的」・「安定的」な資産形成に貢献する商品を提供します。また、お客様のニーズを的確に把握・予測し、お客様にご満足いただける当社ならではの商品開発を実践します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクトガバナンスのPDCAに則り、ゆめ計画シリーズ10商品の商品性変更を行ったほか、パフォーマンス検証の結果等を踏まえて2商品の繰上償還を実施</li> </ul>
	【方針 2】 お客様サービス	【方針 2】で全役職員がお客様の利益を第一に考えたサービスを提供するとともに、お客様サービスの向上に継続的に取り組みます。また、お客様に最良の選択をして頂けるよう、お客様に合った適時適切な情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お客さまご自身で選ぶ投資信託の取引と、ファンドラップを利用したおまかせ資産運用「Goal Navi」を利用できる「Nダイレクト」の提供を開始</li> </ul>
【原則 7】 【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】	【方針 4】 経営インフラ	【方針 4】で 独立社外取締役の招聘により、ガバナンス体制の独立性・透明性を向上させることで、お客様の利益を最優先する取り組みを推進していきます。また、経営会議の諮問会議である「FDサステナビリティ委員会」を通じて内部統制の体制を強化するほか、「FD・サステナビリティアドバイザーボード」を通じて社外の有識者の助言を受け、お客様本位の業務運営を推進していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 取締役会のさらなる実効性向上を目的に、独立社外取締役を新たに1名招聘</li> <li>■ 独立社外取締役や外部有識者から助言を受ける「FD・サステナビリティアドバイザーボード」を定期的開催 テーマ例： ・当社のファンドガバナンスの取組について ・人材育成に関する取り組み状況について</li> </ul>
	【方針 6】 人材育成・企業文化醸成	【方針 6】で企業文化醸成の取り組み実施し、お客様本位の業務運営に係る取り組みを従業員に浸透させております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高度プロフェッショナル人材やマネジメント人材としての必要な能力・スキルを習得・強化するための階層別研修やEラーニング導入等の新たなキャリア開発施策をスタート</li> <li>■ 小学生を対象とした出張授業や「SDGs川柳コンクール」等、金融・SDGs教育に関する取組みを様々な部門の有志職員で実施</li> </ul>

# 金融庁「プロダクトガバナンスに関する補充原則」と当社方針との対応関係

金融庁 「プロダクトガバナンスに関する補充原則」	ニッセイアセット「お客様本位の業務運営に係る方針」		
	方針	説明	2024年度具体的取組み
【補充原則1】 【基本理念】	【方針1】 商品	【方針1】で適切なプロダクトガバナンスを通じて、お客様の「長期的」「安定的」な資産形成に貢献する商品を提供します。	■ プロダクトガバナンスのPDCAに則り、モニタリング対象商品を抽出し、各商品の対応方針を決定のうえ実行
	【方針4】 経営インフラ	【方針4】で 独立社外取締役の招聘により、ガバナンス体制の独立性・透明性を向上させることで、お客様の利益を最優先する取り組みを推進していきます。	■ 取締役会のさらなる実効性向上を目的に、独立社外取締役を新たに1名招聘
	【方針6】 人材育成・企業文化醸成	【方針6】で企業文化醸成の取り組み実施し、お客様本位の業務運営に係る取り組みを従業員に浸透させております。	■ 「経営理念」や拠り所となる「パーパス」、サステナビリティ経営スローガンである「A Good Investment for the Future」に関連して、お客様の長期にわたる資産形成への貢献について社長が役員に語りかけを実施
【補充原則2】 【体制整備】	【方針1】 商品	【方針1】で適切なプロダクトガバナンスを通じて、お客様の「長期的」「安定的」な資産形成に貢献する商品を提供します。また、お客様のニーズを的確に把握・予測し、お客様にご満足いただける当社ならではの商品開発を実践します。	■ プロダクトガバナンスのPDCAに則って決定されたモニタリング対象商品の対応方針に基づき、運用改善や商品性変更、償還の進捗をプロダクトガバナンス委員会にて確認
	【方針4】 経営インフラ	【方針4】で 独立社外取締役の招聘により、ガバナンス体制の独立性・透明性を向上させることで、お客様の利益を最優先する取り組みを推進していきます。	■ 独立社外取締役や外部有識者から助言を受ける「FD・サステナビリティアドバイザリーボード」を定期的に開催
【補充原則3】 【金融商品の組成時の対応】	【方針1】 商品	【方針1】で適切なプロダクトガバナンスを通じて、お客様の「長期的」「安定的」な資産形成に貢献する商品を提供します。また、お客様のニーズを的確に把握・予測し、お客様にご満足いただける当社ならではの商品開発を実践します。	■ ニッセイS&P500リカバリー戦略株式ファンド、ニッセイ・インド中小型株式ファンド、ニッセイ・パワーテクノロジー株式ファンドなど、NISA成長投資枠対象ファンドを新たに9本設定（2024年度末でNISA対象ファンドは97本）
	【方針2】 お客様サービス	【方針2】で全役職員がお客様の利益を第一に考えたサービスを提供するとともに、お客様サービスの向上に継続的に取り組みます。また、お客様に最良の選択をして頂けるよう、お客様に合った適時適切な情報提供を行います。	■ お客様へのわかり易い情報提供の強化に努め、目論見書に「総経費率」の記載を追加
【補充原則4】 【金融商品の組成後の対応】	【方針1】 商品	【方針1】で適切なプロダクトガバナンスを通じて、お客様の「長期的」「安定的」な資産形成に貢献する商品を提供します。	■ プロダクトガバナンスのPDCAに則り、ゆめ計画シリーズ10商品の商品性変更を行ったほか、パフォーマンス検証の結果等を踏まえて2商品の繰上償還を実施
	【方針2】 お客様サービス	【方針2】で全役職員がお客様の利益を第一に考えたサービスを提供するとともに、お客様サービスの向上に継続的に取り組みます。	■ 新サービス「Nダイレクト」の提供を開始 ■ 当社HPの各ファンドのページに、ファンドの運用責任者氏名や担当部署を掲載
【補充原則5】 【顧客に対する分かりやすい情報提供】	【方針2】 お客様サービス	【方針2】で全役職員がお客様の利益を第一に考えたサービスを提供するとともに、お客様サービスの向上に継続的に取り組みます。また、お客様に最良の選択をして頂けるよう、お客様に合った適時適切な情報提供を行います。	■ オフィシャルHP以外にもX、LinkedIn、note、YouTube等様々なメディアを通じて情報発信を実施